

今回は、ポスターを使ったショートプレゼンの報告です。

◇ 学校評議員の方々の前で、ポスタープレゼンを行いました！

日時： 2020年10月13日(火) 7限

場所： 関高等学校教室

参加者： 学校評議員(敬称略)

福田恵介(福田刃物工業株式会社取締役) 平田久美子(平田建設株式会社取締役)

神谷泰久(関高等学校同窓会副会長) 森小百合(関市高齢福祉課長)

岡田英賢(関高等学校PTA会長)

発表者： LGBT研究チーム

関市LGBTフレンドリー宣言に協力

地域研究部

関市企画振興課と連携した郷土史研究

家庭クラブ

せきの未来・社会貢献プロジェクトを実践

キウイたれ開発チーム

せきの未来・社会貢献プロジェクトを実践

◇ 当日の様子

地域と連携して探究活動を行っている研究グループのメンバーが、学校評議員の方々の前で、ポスタープレゼンを行いました。

2016年、関市LGBT宣言の趣旨に賛同した関高生が、性的少数者に関する啓発活動を開始しました。5期目となる現2年チームは、オリジナルの漫画による啓発をめざしています。

地域研究部は、関市企画広報課と連携し、市内各地に眠る伝説や史跡の再評価を地道に行っています。そのひとつ、関市に残る明智光秀伝説の研究は、今年度、高文連全国大会で最優秀ポスター賞を受賞しました。

家庭クラブの研究は、令和元年度ホームプロジェクトコンクールにおいて県最優秀賞を受賞し、次年度夏の全国大会に出場します。先ごろも、地産地消を目指す米粉料理の校内コンクールを実施したばかりです。

関市の特産品、洞戸キウイの特性を生かした焼肉のたれ開発グループのプロジェクトは、前掲の家庭クラブとともに、関市公認の「せきの未来・社会貢献プロジェクト」に参加しています。このプロジェクトは、関の事業者と非営利団体が協力し、ビジネスと社会貢献の両立を図る活動を行うものです。

生徒は緊張しながらも、社会人を前にした初めてのポスタープレゼンに臨みました。質疑応答を重ねるうちに、だんだんと緊張も解け、具体的な助言や暖かな励ましを受けながらの有意義な交流となりました。普段は物静かな生徒が堂々としたプレゼンを行うなど、生徒の新たな一面がみられるのもFRH活動の特色のひとつです。評議員のみなさんからは、「FRH活動を通して生徒たち自身が社会で生きていく力を磨き上げてくれるものと思う」「生徒や教員の試行錯誤の様子がよくわかる」といったコメントをいただきました。

